

消防防災ヘリコプターの安全性向上・充実強化に関する検討会（第3回）

議 事 概 要

- 1 日時：平成30年2月2日（水） 14：00～16：00
- 2 場所：農林水産省三番町共用会議所 大会議室
- 3 出席者（敬称略）
別紙のとおり
- 4 次第
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ア 「消防防災ヘリコプターの操縦士の養成・確保のあり方に関する検討会」での課題・対応策に係る具体的取り組みについて
 - イ 安全性向上策の検討について
 - ・ フライトレコーダー、コックピットボイスレコーダー（FDR、CVR）の搭載について
 - ・ ヘリコプター動態管理システムの高度化について
 - ・ シミュレーターの活用について
 - ・ 計器飛行について
 - ウ 検討会報告書骨子について
 - (3) 閉会
- 5 議事
 - (1) 「消防防災ヘリコプターの操縦士の養成・確保のあり方に関する検討会」での課題・対応策に係る具体的取組みについて

第2回検討会に引き続き、自主運航団体における操縦士の自主養成、必要な財政支援策等について検討を行った。自主運航団体での操縦士の自主養成については、操縦士を安定的に確保するために非常に有効な手法との認識で概ね意見の一致が得られたが、実施に当たっては、養成に要する高額な経費に対する財政支援や定着率を高める取り組みが必要との意見があった。主な意見は以下のとおり。

 - ・ 自主養成は、養成期間や養成経費に係る課題はあるが、操縦士の安定的な確保には有効な手法である。
 - ・ 自主養成は、離職率が低くなるという点から、メリットは大きいのではないかと。
 - ・ 財政支援があれば、自主養成のきっかけにもなるのではないかと。

- ・ 全員が必ずしも組織が望んだ操縦士に育つ訳ではないという認識も必要である。

(2) 安全性向上策の検討について

運航上の安全性向上策として、FDR、CVRの搭載、ヘリコプター動態管理システムの高度化、シミュレーターの活用、計器飛行について検討を行った。検討内容及び主な意見は以下のとおり。

ア FDR、CVRについて

正確な事故の原因究明のためには必要なものであるが、現行の消防防災機への取り付けは、経費等の課題が大きく、機体更新時に装備すべきという方向で意見の一致が得られた。

- ・ 正確な事故の原因究明を考えると、必要である。
- ・ 既存の機体へ取り付けることは難しいので、機体更新の時期に合わせて取り付けるのが現実的である。
- ・ 日常のフライトを解析し、飛行を振り返るための機能があれば、安全性を高める上で有用である。

イ ヘリコプター動態管理システムの高度化について

現行のヘリ動態管理システムは、ヘリコプターの位置情報の確認ツールとして、デブリーフィング等で活用されているが、高度化により、更に詳細な機体情報の確認機能やFDM機能が備われば、安全性の確保や操縦士の養成の観点からも効果があり、消防庁において積極的に検討すべきとの方向で意見の一致が得られた。

ウ シミュレーターの活用について

フルフライトシミュレーター及び模擬飛行訓練装置（FTD）については、安全性確保の観点から非常に有効なものであるとともに、計器飛行証明の取得・維持にも有用なものであり、訓練に活用する必要があるとの意見が多数であった。しかしながら、国内にこうした機器が少なく、訓練費用が高額であるなどの課題があり、財政支援や関係機関への機器設置の働きかけなどの検討が必要との意見が多くあった。

- ・ 実機ではできない緊急操作の訓練が可能となり、非常に有効である。
- ・ 費用対効果ではなく、安全のためにも、消防防災の用途に合わせたものを作っていく必要があるのではないかと。
- ・ 消防防災の機種に合致したシミュレーターは国内には整備されていないため、訓練費と海外への渡航費を合わせると、高額になる。
- ・ 費用負担や、配備について、国からの何らかの支援が欲しい。

エ 計器飛行について

VORの縮退や低高度RNAV航路の設定など、最近の計器飛行を取り巻く状況について、事務局より説明が行われた後、各委員からは、計器飛行証明の取得・維持の困難性や技量維持の困難性についての意見が多くあった。

- ・ 警察は、広域応援、急な天候悪化時の帰還等を想定し、全国の都道府県警航空隊に対し、計器飛行証明の取得の指示を発した。
- ・ 実機での実施は難しく、シミュレーターの国内配置も限られていることから、計器飛行の技量維持が非常に困難である。
- ・ 現状では、航路のなど計器飛行に必要な訓練環境が整っていない団体も存在する。

(3) 検討会報告書骨子について

骨子の確認を行い、修正等の意見は後日の受付けとした。

報告書案については、第4回検討会にて確認を行うこととした。

消防防災ヘリコプターの安全性向上・充実強化に関する検討会（第3回）
出席者名簿

【委員】

小林 恭一	東京理科大学 総合研究院 教授
平本 隆	帝京大学 理工学部 航空宇宙工学科 教授
菅原 弘行(代理)	東京消防庁 装備部 航空隊 飛行隊総括隊長
齋藤 守	横浜市消防局 横浜ヘリポート 航空科 航空科長
上井 孝文	大阪市消防局 警防部 警防課 航空隊長
武井 裕之	埼玉県 防災航空隊 防災航空センター所長
広瀬 優	富山県 消防防災航空隊 航空隊長
鈴木 徳義	岐阜県 防災航空隊 航空安全管理監
神野 正美	中日本航空株式会社 取締役 航空事業副本部長

【オブザーバー】

梅澤 大輔	国土交通省 航空局 安全部 運航安全課 乗員政策室長
小森 武彦	警察庁 生活安全局 地域課 課長補佐
高村 知孝	全国航空消防防災協議会 事務局長
有賀 友幸	全国消防長会 警防防災担当係長

【事務局】

消防庁 国民保護・防災部 防災課 広域応援室